

2014.5.5 243/1

京都精華大学長に就任した漫画家

なけみや けいこ さん 64  
竹宮 恵子



撮影・宇那木健一

日本で唯一、マンガ学部がある京都精華大（京都市）で、プロの漫画家として初めて学長に就任した。芸術、人文など5学部があり、「新たな価値観を作ることに重点を置く大学。じっくりと考える学生を育てたい」と力を込める。

# 顔

1968年、少女漫画誌でデビュー。徳島大教育学部（当時）を中退して上京し、少年の同性愛を描いた「風と木の詩」や環境問題をテーマにした「地球（テラ）へ……」などの作品で70年代の少女漫画を牽引した。

京都精華大に2000年、マンガ学科が開設されると、請われて専任教授に。大学で学んだことを卒業後に様々な分野で生かせるようにと、医学や経済など難しい問題を平易に解説する「機能マンガ」を提唱し、漫画の可能性を模索し続ける。

「ストーリー漫画を作るには総合力が必要。その力がなくても諦める必要はない。文字よりも多くのことを語るマンガの機能を学び、使いこなせば仕事に生かせると思う」

卒業生から漫画家が生まれるなど、マンガ学部は軌道に乗せた。次は大学全体の経営改革に手腕が期待される。

（京都総局 辻田秀樹）